

都市農村共生・対流総合対策交付金共生・対流促進計画
「グリーン・ツーリズムの推進
& ネットワーク構築事業」



旅のついでに気軽に参加できる
グリーンツーリズム・エントリーモデル開発事業



株式会社リクルート ライフスタイル
じゃらんサーチセンター
副センター長 横山幸代
yukiyo85@r.recruit.co.jp

1. じゃらんリサーチセンターについて

- ・国内旅行情報サービス「じゃらん」について
- ・じゃらんリサーチセンター（JRC）について

2. 旅行者に求められている「グリーンツーリズム」とは？

- ・「グリーンツーリズムに対する消費者意識調査」より

3. 観光連携事例から学ぶ

「グリーンツーリズム課題解決」のヒント

4. 終わりに

1. じゃらんリサーチセンターについて

- ・国内旅行情報サービス「じゃらん」について
- ・じゃらんリサーチセンター(JRC)について

消費者と地域の出会いを支援し、笑顔あふれる世の中に。 H 24 農水省支援事業 [グリーンツーリズムエントリーモデル推進協議会]担当

調査

じゃらん宿泊旅行調査
インバウンド調査
ご当地調査
若者の国内旅行実態調査
人気温泉地ランキング



実証実験

需要創造型テーマや、
課題解決型テーマに関して
のフィールドワーク



地域集客支援

・観光振興計画支援
・観光資源の調査を
元にしたPR戦略支援
・観光資源の発掘・
魅力づけ支援
など



情報発信

とーりまかし
観光会議きゅうしゅう
観光会議ほっかどう
観光会議とうほく
セミナー・勉強会の開催



2. 旅行者に求められている 「グリーンツーリズム」とは？

2-1. 国内旅行市場について



- 1年間に実施されているレジャー国内宿泊旅行は**2.3億泊**。
- 旅の目的は“風呂・めし・観る”。『各種体験』目的は**1.4%**
- GT体験平均金額は5,000円～15,000円に7割集中。

泊数
1.6日

平均同行者
3.6人

土日祝日
49.6%

旅行金額
46,700円
【着地体験額】
12,800円

(※観光庁調査)

2週間以内
31.8%

自動車旅行
44.8%

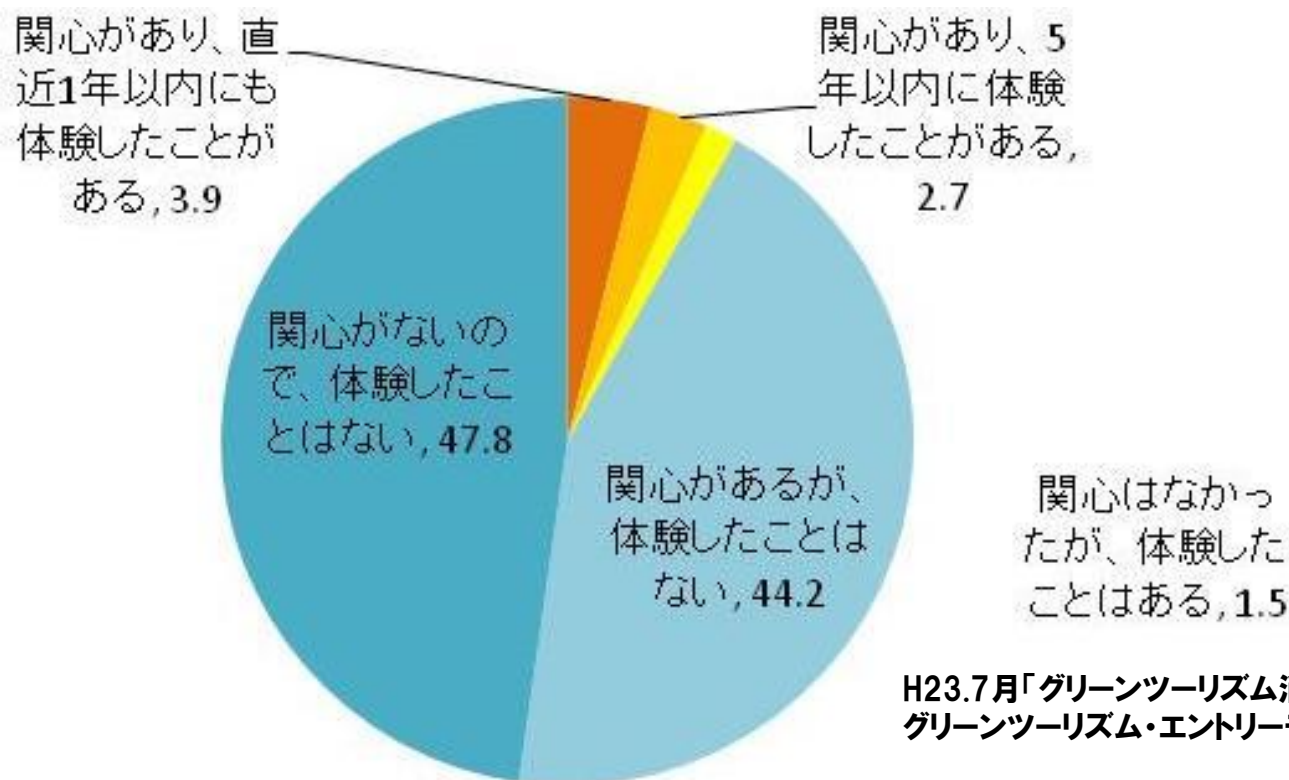
ネットでの
宿泊予約
58.9%



(出張・帰省・修学旅行除く観光宿泊統計一
じゃらん宿泊旅行調査2013 全国平均値)

2-3. グリーンツーリズム経験率（18歳以降）

「5年以内のGT体験者」は8%。非体験者のうち約半数が「GTに関心があるが、体験したことはない」と回答している

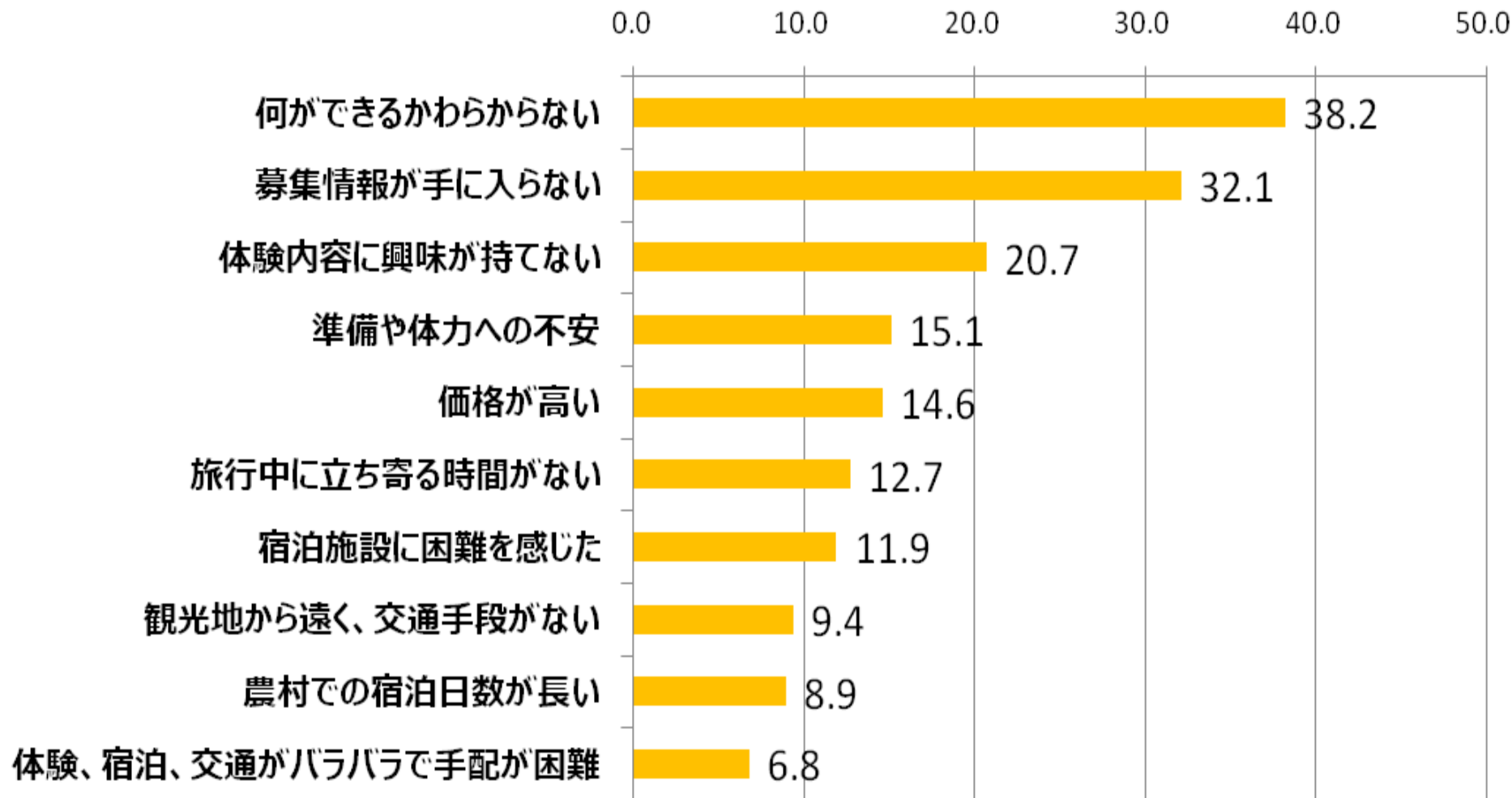


	全体	男性・20代	女性・20代	男性・30代	女性・30代	男性・40代	女性・40代	男性・50代	女性・50代	男性・60代以上	女性・60代以上
5年以内のGT経験率	8.1	7.0	11.7	7.0	10.1	4.7	7.9	5.2	7.6	13.5	8.1

2-5. 消費者側の課題



**未経験者に対する、旅行ついででのGT推進が必要。
より「気軽で安心」、「旅行予約のついでに情報が手に入る」、
「1泊2日の旅に組みやすい体験」提供を目指します。**



2-8.グリーンツーリズムの素晴らしさを伝える方法



初回いきなり、飛込みにくいグリーンツーリズム。
農村体験ファンを創るためのステップの設計も必要。



3. 観光連携事例から学ぶ 「グリーンツーリズム課題解決」のポイント

個人客8割、旅行ついでの人を対象にすると課題が大きい

4つの課題

提供側

参加者側

1. 流通が難しい

1泊2日旅行に組込んで解決

2. 気候変動で
内容が決めづらい

地域連携で解決

3. 日程が事前に
決めにくい

宿泊予約時に体験予約で解決

4. 多人数は
受入れられない

2人でも受入可能な設定に！

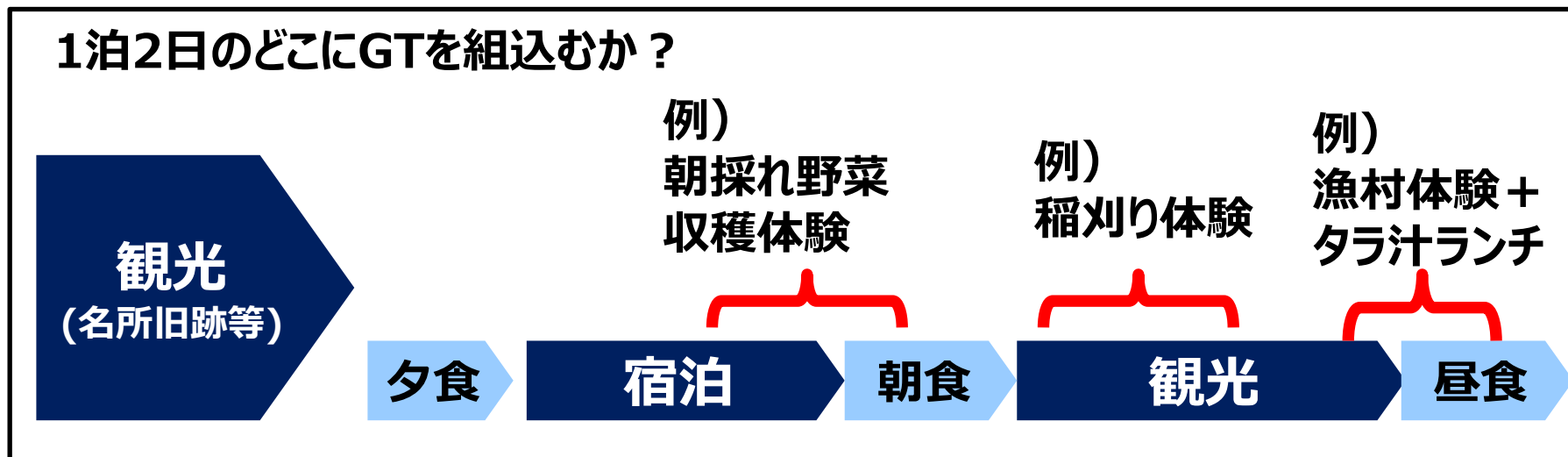
【ヒント】1泊2日の旅行に組込んで流通



① 1泊2日の旅行に組みこめる短時間の体験に

- 昼食ついでの「2時間」程度の体験時間
- ホテルから無料送迎付きという気軽さ

1泊2日のどこにGTを組み込むか？



② GT体験を宿泊予約サイトで販売⇒事前予約管理可能に

- 宿泊予約時に、体験予約も確定
- 天候が悪かった場合は室内でできることに変更

③ ストーリー性で付加価値アップ！

- 体験に「食事」の魅力をプラス！

① 地域の農業連携

- 気候により、収穫できるものが異なる場合は、連携している別の農家で受入れ
- 天候が悪ければ、ハウス農家へ受入れ要請



② 体験よりも知的好奇心をくすぐる体験を！

- 取り放題、食べ放題は、誰も喜ばない？
- 司会が一人いれば、農家はエンターテイナー



③ 観光協会に、農家も参加

- 宿泊受入れは“餅は餅屋”へ。
農家は体験受入れのみでも、同売上額も可能。
- 観光団体と農家を繋ぐ連携組織を創る





- ① **短時間、少人数受入れ。泊めずに体験提供**
 - 構えず、空いている時間に、その時にやっていることを、そのまま実施
 - 宿泊は近隣の旅館、ホテルと連携。体験のみ提供
- ② **構えず、ありのまま。特別イベント化をしない**
 - 生きがいとやりがいを生む。
無理をしないこと、楽しむことが継続のコツ
 - プログラムを創らない。
村で自由にぶらぶらしてもらおうのも観光の一つ
- ③ **村全体が資源。地域の楽しみ方を情報提供**
 - 栗林で栗ひろい、川でおよぐ…地図を渡すだけ。
情報だけ提供し、自由に過ごしてもらおう

**旅行のついでに体験できる『エントリーモデル』開発で
グリーンツーリズムの裾野拡大を目指します！**

**国内旅行2.3億人泊に向け、
農村での豊かな体験を提供することで、
本格的なグリーンツーリズムの
ファンを増やしていくことを目指します。
情報提供、ご指導ご鞭撻の程をお願いします。**